

## ピープルデザインのプロジェクトを支える 5つのマイノリティ×4つの切り口

### 超福祉を実現する糸口は？

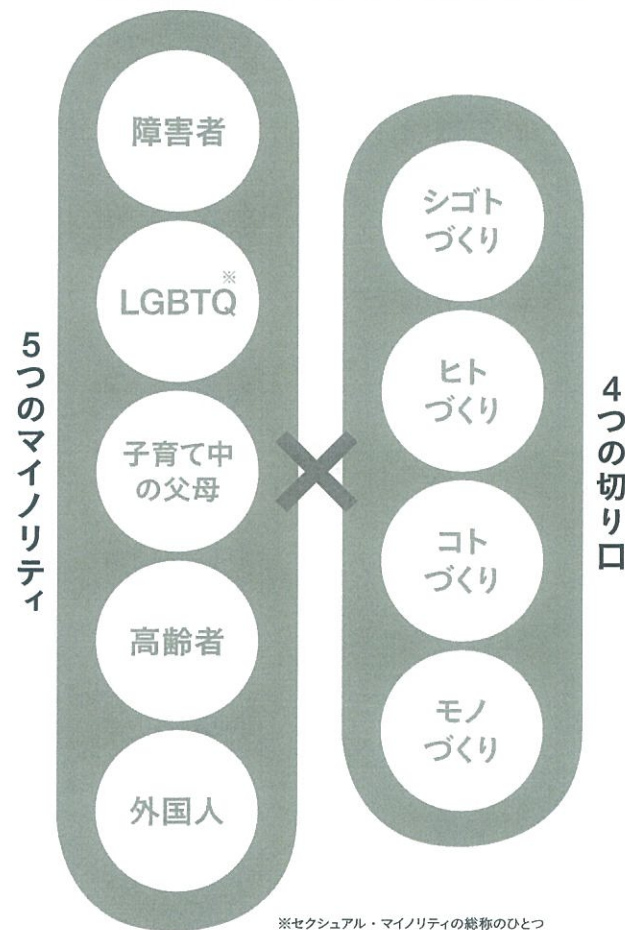
近年、「意識のバリアフリー」というフレーズをよく聞くようになった。一方、「ではどのように」という方法論は見えていない。弊研究所では、人々がもつ意識のバリアをクリエイティブに壊すために、右上の「5つのマイノリティ」と「4つの切り口」をかけあわせて困りごとを解決し、ダイバーシティのまちづくりへのアプローチを行っている。

例えば、5つのマイノリティの中のひとつ「障害者」と、4つの切り口の中のひとつ「シゴトづくり」をかけあわせたときに生まれる困りごとには、「就労体験プロジェクト」や「ショートタイムJOB」といったプロジェクトでアプローチする。

また、「高齢者」と「ヒトづくり」では「認知症国際交流プロジェクト」、「子育て中の父母」と「ヒトづくり」では「子育て応援プロジェクト」というように、5つのマイノリティと4つの切り口をかけあわせることで、従来型の福祉を超えたワクワクする「超福祉」を立体的に実現し、ダイバーシティのまちづくりを進めているのだ。

次のページから、私たちが取り組んできたプロジェクトの事例を具体的に紹介していこう。

### ダイバーシティのまちづくりを進めるアプローチ



※セクシュアル・マイノリティの総称のひとつ